

体を守る免疫のサイエンス なぜ、ワクチンは効くのか

日時：7/28（土）午後 3:30~5:30 開場 午後 3:00

場所：Architect Cafe アークカフェ（大阪梅田）

定員：先着 30 名 **事前の申込が必要です**

ゲスト：伊勢 渉（いせわたる）

大阪大学免疫学フロンティア研究センター（WPI-IFReC）特任准教授

ファシリテーター：岩崎 琢哉（いわさきたくや）大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室 特任講師

参加無料

ドリンク代は各自ご精算ください。

免疫を学ぶ。免疫に学ぶ。

私たち人間の体は、病原体（菌やウイルス）に冒されると、防衛機能によってこれを迎え撃ち、体を守ります。このしくみを免疫と呼びます。

免疫の不思議な点の一つは、一回戦った病原体に再び出会うと、前回の戦い方を呼び起こして有利に戦う点です。私たち人間が行う学習と記憶が、本人の意識が及ばない細胞や分子のレベルでも行われているのです。ワクチン（予防接種）とは、こうした記憶のしくみを利用して、外からやって来る敵の情報を体に予習させるものです。だから予習が上手くいけば、病気の予防に役立つのです。

免疫の機能がほんの少しバランスを失うだけで、私たちは体の不調を感じます。また、アレルギーやリウマチのような、免疫が自分自身を攻撃するために起きる病気もあります。免疫がこうして私たちの生命そのものを深いところで揺さぶるのは、免疫による記憶の働きと無縁ではない、と考えられています。

この夏のサイエンスカフェ・オンザエッジのゲストは、免疫記憶の分野で世界のトップランナーの一人、伊勢 渉（いせわたる）さんです。伊勢さんには、この分野のホットな話題を、わかりやすく紹介して頂きます。これを機会に、日頃の疑問を直接尋ねてみるのもよいでしょう。

免疫機構の全容を解明するのは、まだ当分先の話です。しかし私たちは、完全には理解できない難解な科学にも何かを感じ取って感動したり、我がことと引き比べて考えたりする能力を持っています。まさに今、免疫を研究している科学者からじかに話を聞き、純度の高い知と出会い、考えるヒントをつかむ。そんなことを楽しみに、お集まり頂ければ幸いです。

（ファシリテーター：岩崎 琢哉）

申込はこちら。 7/25(水)まで受付ます。

インターネット：<http://goo.gl/TDNuz>
電子メール：kurocafe@ifrec.osaka-u.ac.jp
電話：06-6879-4457（平日 9:00～17:00、担当中尾）



定員（30名）に達した場合は、申込を締め切らせていただきます。

大阪大学免疫学フロンティア研究センターは、審良静男（あきらしずお）教授を中心とする、世界トップクラスの免疫研究拠点です。サイエンスカフェ・オンザエッジとは、審良教授とともに働く研究者をゲストに招くサイエンスカフェのシリーズで、今回で9回目を迎えます。



伊勢 渉（いせ・わたる）

大阪大学免疫学フロンティア研究センター
特任准教授（農学博士）

東京大学大学院農学生命科学研究科修了後、ワシントン大学、Howard Hughes Medical Institute 研究員を経て、2011年4月より現職。専門はTリンパ球、Bリンパ球、免疫記憶。



会場：アークカフェ
大阪市北区芝田 2-8-11 共栄ビル 1F

TEL 06-6372-3636 <http://arch-cafe.net/>